

星短生が女性目線でチェック！穴水町の観光スポット採点

学生団体名 **TEAM** 穴水町(金沢星稜大学女子短期大学部)

参加学生 石崎晴香・上田由季・川口莉奈・坂本香奈・佐々木真弓・末政志麻・谷口美世・中村早希・中村千智・棒田彩・木下未結・平田瑞季

1. 地域活動の概要

「地域連携・交流センターかぶと」を通じてつながりのある穴水町の観光スポットを、既成の観光業からの視点などではなく、今後の来訪者として期待される女子短大生の目線で見ることによりフレッシュな評価を加え、どのような点に不満があるのか、またそれをどのように改善すれば良いのかななどを提案することを目的としている。

2. 地域活動の具体的な内容

実施日：平成24年8月9日～8月10日(1泊2日)

実施内容：穴水町のH/Pで紹介されている観光スポットを、①レジャー施設(潮騒の道、立戸の浜)、②神社仏閣(能登大仏と三重塔、勅定山来迎寺)、③商業施設(のとワイン)、④博物館(能登中居鋳物館)、⑤その他(四季の丘、地域連携・交流センターかぶと)、に分類し、あらかじめ作成した採点表によって点数化することを試みた。潮騒の道は穴水町企画情報課の小林係長に、来迎寺はご住職のお母様に、のとワインは担当の丸山さんにお話を伺ったが、その他は自分たちで境内を歩き回ったり、実際に海に入ったり、宿泊施設の見学や実際に宿泊して自炊もして積極的に体験することにした。

3. 地域活動の評価

従来は、合宿・研修などを行う学生の来訪が目立っていたが、今回のように純粋に観光を目的とした学生、特に女子学生がチェックするという新しい観点からの観光スポットの採点という試みは非常に斬新なものであったと言えることができる。若い世代の意見を取り入れることにより、新たな観光の道が開ける可能性が示されたのではないだろうか。

4. 今後の活動の継続、活発化するために必要なもの、課題

スケジュールの詰まった2年間という短大生活ではなかなか継続していくことが困難であるが、後輩にこうしたフィールドワーク活動を伝えていくことは大事なことだと思われる。同好会や研究会のような組織を作って、季節ごとの観光スポットの調査をしたり、知られていなかった新たな食材を発見していくことに力を入れたい。

5. 学生の感想

丁寧に案内していただいたスポットは評価が高かった(潮騒の道、来迎寺、のとワイン)。レジャー施設としての潮騒の道にはベンチのような休憩施設がほしい事、立戸の浜は整備が必要な事があげられた。

6. 地域からの評価

女子学生のみでのグループでの来訪ということで、非常な好意をもって受け入れていただいた。1200年の由緒ある来迎寺でも若い世代にわかりやすく解説していただき、感謝している。